



# 高知市倫理法人会会報誌

学びを楽しみ、世界を楽しもう！

VOL. **5**

2018年1月

<http://www.rinri-kochi.jp/>

# 謹賀新年

昨年は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。本年は、高木県会長によるモーニングセミナーの講話で始まり、「七つの原理勉強会」や、楽しく普及を行う「食場の教養」、またゲストを招いた「特別ナイトセミナー」等、多くのイベントを行い、会員の皆様にご満足いただけるような単会運営を心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝と貴社の益々のご発展を心よりお祈りいたします。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

高知市倫理法人会 会長 中 宏文



写真は、今年度第一回目のモーニングセミナーです。





## INFORMATION

モーニング  
セミナー

平成30年も、モーニングセミナーでお待ちしてます！

毎週木曜日 朝6:00~7:00 ザクラウンパレス新阪急高知 3F



<p><b>4日(木)</b></p> <p>お休みです。</p> 	<p><b>11日(木)</b> 第714回 第16条 「専己及人」</p>  <p>『晩年よければ すべてよし』</p> <p>講師 株式会社T 代表取締役会長 高知県倫理法人会 委員</p> <p><b>高木義夫氏</b></p>	<p><b>18日(木)</b> 第715回 第17条 「人生神劇」</p>  <p>『町工場の 新しい挑戦』</p> <p>講師 加洋鉄工株式会社 代表取締役 豊川倫理法人会 副会長</p> <p><b>中野義弘氏</b></p>	<p><b>25日(木)</b> 第716回 第1条 「日々好日」</p>  <p>教学同時「七つの原理」勉強会 『存在の原理』</p> <p>講師 株式会社アイユート 常務取締役 高知県倫理法人会 広報委員長</p> <p><b>窪田哲也氏</b></p>
---	--	---	--



**朝食会の開催 7:05~7:30**

セミナー終了後、朝食をとりながらの懇親交流会を開催しています。ぜひご参加ください！




**ザクラウンパレス 新阪急高知**

お車はホテル1階におとめ下さい。満車の場合、コインパーキングへ(補助あり)

1月からの  
行事

まもなく単会最重要のイベント  
倫理経営講演会です！

- 地球倫理推進デイ(清掃活動です！)  
1/14(日) 7:00~ 鏡川沿い
- 経営者の集い: 講師 中野義弘法人レクチャー  
1/17(水) 18:30~(18:00受付) 高知商工会館
- 倫理経営講演会「大転換の時代一つねに活路あり」  
2/21(水) 18:00~(17:30受付) 三翠園 会費: 講演会のみ2,000円、懇親会込5,000円

年に一度の倫理経営講演会がまもなく開催されます！皆さま、ぜひお越しください！



高知市倫理法人会会報誌

2018年1月1日発行 原稿提供/鎌田真悠子・澤田祐子  
発行者/高知市倫理法人会 〒781-5106 高知市介良乙 993-1-2F

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

全国会員の皆様におかれましては、平成三十年、西暦二〇一八年の新春をお健やかに迎えられたことお慶び申し上げます。旧年中は倫理運動に対し、真心あふれるご尽力を賜り、まことに有り難うございました。篤く御礼申し上げますと共に、本年もどうかより一層のご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

新しき年の初めに思ふところい群れてをれば嬉しくもあるか (〔万葉集])

これは天武天皇の孫にあたる道祖王(ふなどのおおきみ)の和歌です。「どち」とは友人や親しい人のこと、「い群れて」の「い」は調子を整える挨拶語。「新しい年の初めに気心の合ふ人たちが集まっているのはなんと嬉しいことだろうか」という意味です。この和歌のように、新春の履びを交わし合うのは、昔から喜びに満ちていました。自然を畏敬視察し、祖先を尊崇してきた私も日本人は、大晦日までに家を浄めて祖先の御霊を迎え、元旦には希望の象徴である初日を選び、家族親族や親しい人たちと「おめでとう」といいます。の言葉を交わします。なんと心ゆかし慣習でしょう。

今年度も倫理運動を力強く推進していく私共も、日本を創造的に生まれ変わらせ、地球倫理をいよいよ浸透させるべく、新たに年を重ねた喜びの挨拶を交わし合いながら、一年の決意を固めたく存じます。

さて、旧年中も皆様の絶大なご尽力の御陰をもちまして、倫理研究所の諸事業はほぼ計画通りに進行されてきました。以下、簡明ながら報告させていただきます。

個人会員組織(家庭倫理の会)では、各世代ご効果的な活動に重点を置いていきます。とくに若い子育て世代を中心とした学習活動と人材育成に力と注ぎ、高齢者による弁論大会を実施した所では好評を博しました。四年ほど前より全国各地で通算三十回開催してきた「教育創生フォーラム」は昨年で終了し、「教育は家庭から」の認識を深めていただくと共に、公教育と民間教育をつなぐ「タグボート」の役割も果たせたと思います。そうした成果を基盤に、今後とも日々の「おはよう倫理塾」をはじめ「子育てセミナー」「家庭倫理講演会」等の行事を通じて、民間団体ならではのきめ細かい教育活動を行ない、純粋倫理を基底にした健全な家庭づくりを推進して参ります。

さて、大変動期の中にある今日の世界は、グローバリズムと反グローバリズムがせめぎ合い、国論が二分して国家が分断される現象があらにみられるなど、「二元対立」による混沌の度が増しつつあります。自由・平等・民主といった近代文明をリードしてきた価値観は大きく揺らぎ、近代文明を底支えた科学技術の発展ですら未来社会に幸福をもたらすとはかぎりません。そのような時にこそ、何が善であり正義なのか、真の幸福や平和とは何か、人間の役割や使命とは何かといった、根本の問いに挑む必要があります。そこから、目に見えない隠れた次元すべてはひとつとなり、「全一統体」に根ざした純粋倫理が、普遍的価値を持つものとして立ち現れるでしょう。純粋倫理に根ざした新しい時代の倫理文化の花を咲かせ、世界に発信していくべきではありません。

振り返りますと、「平成」の御代になってほどなく、バブル経済が破綻し、経済の低迷や政治の劣化、少子化の加速等々、いくつもの由々しき社会問題が噴出する日本となりました。しかし「平らかに成る」とはおよそ異なるように見えながら、戦争や飢饉が起きることもなく、国民の生活はおしなべて安定しており、国民のモラルの高さも世界に誇り得るものがあります。その背景には、国民統合の象徴である天皇・皇室の存在があることを忘れてはなりません。

一昨年末、天皇陛下は御位のお気持ちを表明する「おことば」を国民に発せられました。その御心に添うよう、速やかに特別法が成立し、平成の御代はまもなく終わろうとしているのです。まさしく日本も、新しい時代を迎える段階に至りました。

縄文時代以来培われてきた「共存共生の精神」を発揮して、「日本創生」および「地球倫理の推進」を二大スローガンに掲げるわれわれの倫理運動を、いよいよ力強く推進しなげればなりません。

倫理研究所役員・職員一同、本年も会員の皆様と心を合わせ、「さらなる、新」に挑む気構えを銘記して、業務に励んで参ります。

平成三十年一月一日

一般社団法人 倫理研究所

理事長 丸山敬秋

会員各位

純粋倫理に根ざした新しい時代の倫理文化の花を咲かせ、世界に発信していこうではありませんか。



各単会にて、新年第一回目のモーニングセミナーで、丸山理事長の「新年の挨拶」が紹介されています。昨年の活動の報告と、今年の展望などが書かれていますので、ぜひお読みいただきたいと思います。